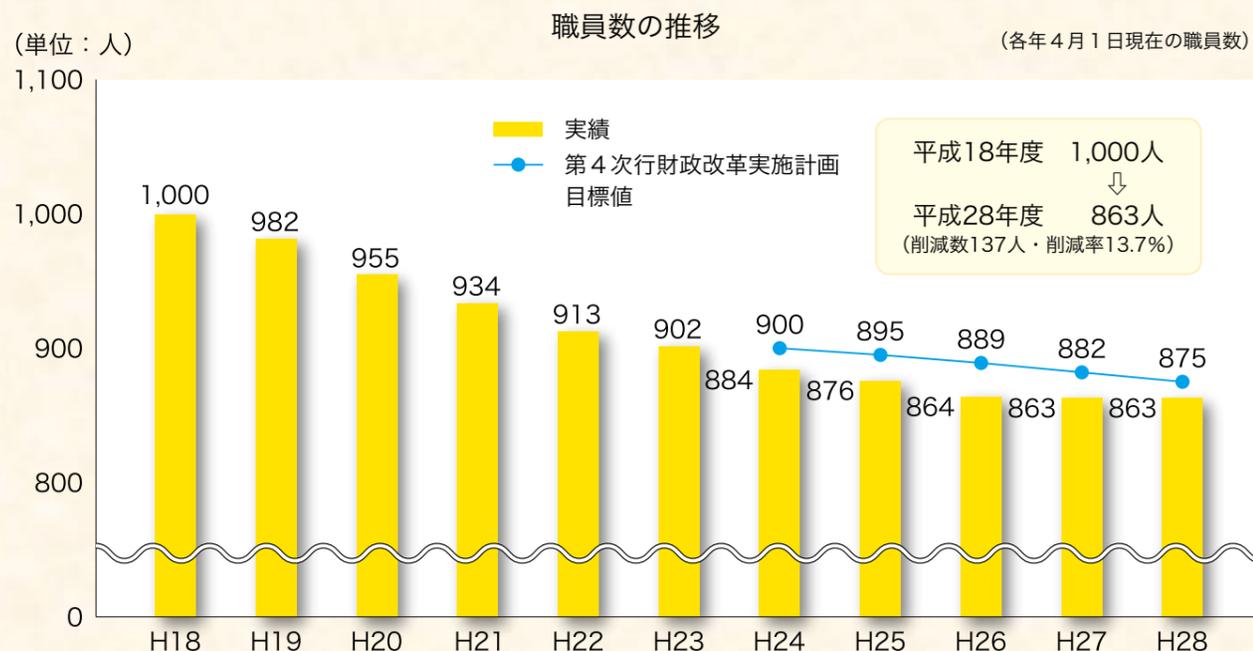


2 職員数の削減

行政組織のスリム化、職員数の削減、事務事業の民間委託等に取り組んだ結果、平成18年度に1,000人だった職員数は、平成28年4月1日には863人となり、目標値を上回る成果を上げることができました。合併以降10年間の職員削減数は137人で、削減率は13.7%になっています。



3 平成24年度から5カ年の財政効果額



第4次阿南市行財政改革 (H24~H28)

▶ 新しい時代に向けた諸改革に取り組みました ◀



行財政改革5カ年の成果

阿南市行財政改革のあゆみ

本市では、昭和57年の阿南市行財政改善審議会の設置に始まり、これまで市民の皆さまから意見をいただきながら、時代に即した行財政の改善・改革を進めてきました。平成18年の合併後においては、平成19年3月に第3次大綱および実施計画（集中改革プラン）を策定し、合併効果を最大限に生み出すことに重点を置きながら、「職員の定員管理・給与の適正化」や「事務事業の再編・整理、廃止・統合」等に取り組みました。また、行財政改革を不断の取組とするため、平成24年5月に策定した第4次大綱に基づく実施計画では、「指定管理者制度等による民間委託」や「情報化の推進」など、民間活力を生かした市民サービスの向上等に重点を置き、57項目において行財政改革に取り組みました。

問い合わせは 企画政策課 (☎22-3429) へ

1

取組内容と目標達成率の概要

(単位：件数)

実施項目	項目数	主な取組内容	取組結果		
			目標達成	一部実施	検討
民間活力の積極的な活用	7	□水道業務の一部民間委託 □指定管理者制度導入拡大 □PPP制度の活用	3	2	2
市民参画の推進と公正・透明な市政の推進	4	□歴史・文化情報の発信 □地域防災力の強化 □パブリックコメント制度の推進	4	0	0
情報化の推進と市民サービスの向上	7	□幼保一体化の推進 □新庁舎における電子看板および番号案内サービスの導入	5	2	0
事務・事業の見直し	7	□時間外勤務の縮減 □市税等口座振替通知書発行の廃止	2	5	0
財政の健全化	21	□市有財産の有効活用 □市税等収納率の向上 □水道事業の適正な運営	11	9	1
定員管理および給与の適正化	2	□定員管理適正化の推進	2	0	0
公共施設等の適正な運営管理	2	□学校給食運営方法の改善	1	0	1
効率的な組織・機構の構築	2	□組織機構の見直し	2	0	0
人材育成の推進	4	□職員研修の充実	2	2	0
広域行政の推進	1	□定住自立圏共生ビジョンの推進	1	0	0
計	57		33	20	4